

未来はどうなるか誰も知らない

一月八日 水曜日 未来はどうなるか誰も知らない

毎日、学校へ行くことになる、その義務のようなもので、重苦しくなり、なんだか、解放感を味わいたくなる。

「早く、来い来い、休日よ」となる。

しかし、反対に毎日、のん気な、休みばかり続くとなにか、仕事と言えよいか、義務の様なものが、ほしくなり、学校を恋す。

人間という動物は、ある定まった、一つの事を毎日、永く、行う事はできないのか。

また、僕も、したいとは、思わない。

人間は、定より、変を、求める傾向があると、自分の性質からも、つくづく、思う。

いつも、同じ物、事は、望まないものだ。

六時五十分起床。

七時に起きるつもりだったが

「朝食を食べるなら、少し早く」と、

おばあちゃんが、夕べ言った。

それで、そうだなあと答えた。

それで、十分、早く、起こしてくれた。